

# 令和7年度 第1回 吉田島高等学校学校運営協議会 会議概要

令和7年7月2日(水) 15:30~16:30

吉田島高等学校本館2階 セミナールーム021

## 協議 令和7年度学校評価報告書について

### (1) グランドデザイン【校長】

校訓は「至誠勤労」。カリキュラム・ポリシーにおいては、農業や家庭科に関連する分野のスペシャリストの育成を目指している。今後は、コンソーシアムや大学・短期大学・専門学校、さらには地域産業との積極的な連携を図っていく。また、中学生や本校の生徒に対して、学校のグランドデザインを広く周知し、教育活動のさらなる充実を推進する。

### (2) 学校教育計画【校長】

大きな課題の一つに、生徒募集がある。県西地区では中学生の減少に伴い、定員割れが目立っている。中学生の人数には限りがあるため、東部方面からの入学者を増やすことが重要である。また、県全体の課題として、教員の人材不足が挙げられる。本年度は本校において教員の不足はないが、多くの学校で人材が足りていないという話を聞く。これは職員の負担が増すだけでなく、生徒にとって望ましい状況ではない。この問題は、今後本校にも影響を及ぼす可能性がある。さらに、本校ではSNSなど、言葉だけのツールによるやりとりが原因で、トラブルに発展するケースも見られるため、生徒のコミュニケーション力の向上を図っている。

### (3) 令和7年度 学校目標

#### ①教育課程・学習指導

##### 【学事グループ】

基礎・基本の定着と、生涯にわたって学び続ける姿勢の礎となる「学び方」の獲得を図り、発展的・探究的な専門学科の学びを通じて、自立した学習者の育成に力を入れたい。教育課程編成の改訂に伴い、今年度の1年次生からカリキュラムを変更した。具体的には、1年次における専門教科の単位数が増加し、より早くから専門的な学びが可能となった。また、情報の授業は専門教科の授業で代替している。これまで1年次は全学科混合のホームルーム編成だったが、カリキュラム変更により教科ごとの単位数に差が生じたため、生活科学科のみ混合ホームルームを実施していない。新たな取り組みであるため、今後は職員へのアンケートなどを通じてデータを収集し、検証を進めていきたい。

##### 【広報情報グループ】

基礎・基本の定着をさせるためOKJ(教えて考えさせる授業)を展開している。OKJは昨年度もやっているが、今年度は生徒だけでなく研修を通して職員の深化を図っていきたい。また各教科だけではなく、教科横断的な授業ができるような話し合いの場を設け生徒へ還元していきたい。

### 【生徒活動グループ】

生徒がいろいろな活動に主体的、積極的に取り組む態度を養うために行事を活用し結果として成長してほしい。初めての取り組みである体育祭に関してアンケートを実施し今後に活かしていく。また部活動の活性化にも力を入れたい。今年度は格技場の改修を行っているため、剣道部が町の施設を使わせてもらっている。

### ②生活指導・支援

#### 【生活指導・支援グループ】

4年間の目標、1年間の目標は要覧のとおり。制服に関して現在業者からサンプルをもらい生徒に意見をもらっているが、生徒は従来のものが良いとの意見が多い。生徒の意見を取り入れながら今後検討していく。多くの生徒がコミュニケーションを課題として抱えている。年間の講演会にコミュニケーション能力向上につながるようなものを取り入れていきたい。相談体制の確立とサポートドックのほかに外部のアンケートを実施し、丁寧に生徒に支援をおこなっていきたい。

### ③進路指導・支援

#### 【キャリアグループ】

生徒が社会に出るためにどうしたら良いかを考えさせることに重きを置いている。職業についてのガイダンスや職種についてのグループワークや講演会を計画している。それを通して働くことについて生徒に考えてもらうようとする。ただ、基礎学力に課題がある。スマートフォンで単語での発信はできるが、つなげて文章にすることはできない。就職の際に自己PRができないため個別指導等を充実させていく。数は多くないがいい傾向だと思うのは職場の体験希望者が出てきた。そういった生徒の希望に応えていきたい。昨日から求人票の受付が始まり2日間で約500枚の求人票が届いている。就職は選べる状態だが、実際に自分に合っている仕事を見つけられるように指導していきたい。

### ④地域との協働

#### 【広報情報グループ】

情報発信に力を入れ学校のHPの充実をしていきたい。生徒募集において情報発信は必要不可欠だと思っている。入学した生徒に聞くとHPを見たという生徒が多いので、昨年度以上にタイムリーな発信をしていく。現在までの学校行事に関しては、すでにHPに掲載しているのでご覧ください。なるべく早く様子がわかるよう発信に努めていきたい。地域との協働については各学科の授業等でも実施されているので、連携をとって進めていきたい。

### ⑤学校管理・学校運営

【管理グループ】 今年度も今までと同様に開成町の防災担当者との連携を図り校内の危険箇所を把握する。そして生徒の安心・安全につなげていきたい。

各委員より意見・質問・協議 (○:委員 ●:学校)

○要覧に書いてある1年間の目標①②は大切だと思う。

生徒が就職か進学かを決めるのはいつ頃か。また進路を変更する理由は何か。

●早い生徒は高校1年の4月には気持ちが決まっている。進学に関しては1年生のころからオープンキャンパスに行っている。就職か進学かを高校3年の4月にはっきりさせるように伝えている。

就職から進学への変更理由は就職試験に落ちて、もう落ちたくないという気持ちからすることが多い。進学から就職への変更は家庭でコミュニケーションがとれておらず、金銭の折り合いがつかないケース。勉強が嫌で就職した場合には、その後の退職が多い。

○文章作成の指導は大切で学校全体で、あとあとあらゆる場面で取り組んでほしい。

○以前まであった選択科目の「郷土史かながわ」はなぜなくなってしまったのか。

●確認して次回回答する。

○以前は職場の方から生徒全体に話をしてもらう場があったが今はあるのか。

●年に1度は業者にガイダンスの実施をしてもらっている。全体を集めるとなると授業の関係で難しい。特定の企業にどこかの授業の時間に来てもらい話をしてもらうことはあるが全体でそういった場はなかなかとれていない。

(4) 不祥事ゼロプログラムについて【副校長】

今年度の本校の不祥事ゼロプログラムは記載されている通り。全て大切な内容であり、職員間で共有して進めている。毎月職員会議の場で、職員が主体的に進行し、研修を行っている。お互いがお互いを守り支え合うことを重視していきたい。また長時間勤務を是正し不祥事ゼロへつなげていく。